日本家庭科教育学会
第59回大会プログラム

期日：2016年7月9日（土）～7月10日（日）

会場：朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター
〒950-0078　新潟市中央区万代島6番1号
Tel ： 025-246-8400
http ： //www.tokimesse.com/

大会事務局　得丸　定子（大会実行委員長：上越教育大学）
〒943-8521　上越市山屋敷町1番地　上越教育大学
Tel・Fax ： 025-521-3417
E-mail ： jahee2016@gmail.com

日程

7月9日（土）					7月10日（日）				
9:00～	受　付 （データインストール7月9日分：各発表会場）				9:00～	受　付 （データインストール7月10日分：各発表会場）			
9:30 ～11:30	口頭研究発表				9:30 ～11:50	口頭研究発表			
	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場		第1会場	第2会場	第3会場	第4会場
	301B	301A	302B	302A		301B	301A	302B	302A
	A1－1 ～A1－6	A2－1 ～A2－6	A3－1 ～A3－6	A4－1 ～A4－6		B1－1 ～B1－7	B2－1 ～B2－7	B3－1 ～B3－7	B4－1 ～B4－7
11:30 ～12:30	昼　食				11:50 ～12:30	昼　食			
12:30 ～13:00	ポスタープレゼンテーション				12:30 ～13:00	ポスタープレゼンテーション			
	奇数番号　（3F：ホワイエ）					偶数番号　（3F：ホワイエ）			
13:10 ～14:10	総　会　（2F：メインホールB）				13:10 ～15:20	ラウンドテーブル 「市民性」を育てる家庭科実践とは			
14:20 ～16:45	シンポジウム（2F：メインホールB） 家庭科が育てる市民性とは					RT1	RT2	RT3	
						301B	301A	302B	
17:30 ～19:30	懇親会 （Befco(ベフコ)ばかうけ展望室 万代島ビル31F）								

＊7月8日（金）15:00～17:00理事会（303・304）
17:00～19:00地区会代表者会議（303・304）

目　次

研究発表
　口頭発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
　ポスター発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

シンポジウム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　13

ラウンドテーブル・・・・・・・・・・・・・・・・・・　14

懇親会のご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・　15

お知らせ
　大会参加費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　16
　昼食について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　16
　保育室について・・・・・・・・・・・・・・・・・・　16
　宿泊等について・・・・・・・・・・・・・・・・・・　17

研究発表をされる方への連絡事項
　口頭研究発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　17
　ポスター研究発表・・・・・・・・・・・・・・・・・　18

朱鷺メッセまでのアクセス・・・・・・・・・　19

アクセスルート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　20

会場配置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　22

研 究 発 表

【口頭発表】(発表番号のAは第1日目、Bは第2日目)

【7月9日】第1会場(301B)

【午前9:30～10:30】座長:藤田昌子

A1-1	高校家庭科における高齢者学習の効果比較	大阪教育大学 大阪教育大学	○増田菜実 鈴木真由子
A1-2	親と子どもの間の時間に関する規則有無と中学生の時間管理行動および時間使用に関する自己評価	弘前大学	○李秀眞
A1-3	グローバル社会と「保育・家族」のカリキュラム開発の課題 －子育て世代へのグループインタビュー調査から－	帝京学園短期大学 大阪成蹊短期大学 大阪教育大学 日本女子大学(客員研究員) 川村学園女子大学(非)	○川村めぐみ 松岡依里子 大本久美子 望月一枝 齋藤美重子

【午前10:30～11:30】座長:三輪聖子

A1-4	「家族との関係性を考える家庭科授業」の構想 －買い物時間から家族を考える－	宮崎大学大学院教育学研究科	○伊波富久美
A1-5	中学校家庭科の家族学習におけるロール・プレイングの効果の検討	千葉県千葉市大椎中学校 千葉大学	○鎌野育代 伊藤葉子
A1-6	持続可能な社会構築に向けた家庭科教育の「家族と共生社会」 －家庭科教員免許状更新講習「家族と共生社会」への教員アンケート調査から－	東京家政大学 家政学部(非)	○小野瀬裕子

【7 月 9 日】第2会場（301A）

【午前 9:30～10:30】座長：福井典代

A2-1	小学校家庭科における児童の製作実習に対する意識	東京学芸大学大学院教育学研究科（院生） 東京学芸大学教育学部	○大藤真央 池﨑喜美恵
A2-2	「衣服材料はなぜ布であるか」の意味 －水蒸気移動特性の視点から－	和歌山大学教育学部 東京家政大学家政学部 滋賀大学教育学部 和歌山大学教育学部	○今村律子 潮田ひとみ 與倉弘子 赤松純子
A2-3	きもの文化の学習から現代の衣生活を考える授業実践 －「きものの繰り回し」から学ぶ循環型衣生活の工夫－	東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科（院生） 横浜国立大学教育人間科学部	○大矢幸江 薩本弥生

【午前 10:30～11:30】座長：安川あけみ

A2-4	「自分自身の生活に引き寄せ」「世界とのつながりを考える」グローバルな家庭科の授業の検討 －学校設定科目「グローバルライフ」衣生活分野の学びの分析より－	埼玉大学教育学研究科 埼玉大学教育学部	○横瀬友紀子 河村美穂
A2-5	材料の特性に着目した実験・実習教材の開発と授業実践	愛知教育大学教育学部 宮崎大学教育学部	○青木香保里 岡村好美
A2-6	家庭科教育における生活文化に関する授業分析	東京大学教育学部附属中等教育学校 東京学芸大学附属高等学校 愛国学園短期大学 山梨大学 女子栄養大学 千葉県立流山おおたかの森高等学校	○楢府暢子 阿部睦子 亀井佑子 志村結美 仙波圭子 仲田郁子

【7 月 9 日】第3会場（302B）

【午前 9:30～10:30】座長：野田文子

A3-1	家庭科教育における金銭資源の管理についての授業の試み －生活設計におけるリスク管理のひとつとして－	千葉県立流山おおたかの森高等学校 千葉大学教育学部	○仲田郁子 久保桂子
A3-2	消費者教育に関する小学校教師用指導書の作成	山梨大学大学院総合研究部	○神山久美
A3-3	問題発見段階における生徒の認知過程の把握 －中学校家庭分野消費者トラブルの事例を通して－	吹田市立南千里中学校 兵庫教育大学大学院 兵庫教育大学附属中学校	○村田晋太朗 永田智子 相川美和子

【午前 10:30～11:30】座長：財津庸子

A3-4	デジタルコンテンツの売買契約に関する動画化教材の評価 －中学校家庭科での授業実践を基に－	福岡教育大学 大阪教育大学 大阪教育大学	○奥谷めぐみ 鈴木真由子 大本久美子
A3-5	高校におけるアップサイクルを活用した消費者市民教育の授業実践	お茶の水女子大学附属高等学校	○葭内ありさ
A3-6	家庭科の授業における批判的思考を促す「相互作用」の有効性	琉球大学教育学部 横浜国立大学教育人間科学部 捜真女学校	○土屋善和 堀内かおる 千葉眞智子

【7 月 9 日】第4会場（302A）

【午前 9：30～10：30】座長：星野洋美

A4-1	写真共有アプリ“Pinterest”を使用した授業の可能性と課題 －大学生の授業評価より－	武庫川女子大学　文学部　教育学科　非常勤講師	○花輪由樹
A4-2	肖像写真を媒介とした中学生と被災地居住者をつなぐ授業実践 －手紙の分析を通して－	神奈川県大和市立鶴間中学校 横浜国立大学	○安部明美 工藤由貴子
A4-3	中学校家庭科教師の教材化の知識に関する研究 －熟練教師と初任教師の比較を通して－	富山大学人間発達科学部	○磯﨑尚子

【午前 10：30～11：30】座長：西敦子

A4-4	家庭科の授業づくりに着目した研修の在り方に関する考察	京都府立北桑田高等学校	○寺本愛
A4-5	中学校家庭分野実践論文にみる教育評価の現状と課題	兵庫県立有馬高等学校(非) 兵庫教育大学大学院学校教育研究科 吹田市立南千里中学校	○山本亜美 永田夏来 村田晋太朗
A4-6	学びを共有するツールとしてのデジタルポートフォリオの活用 －ポイントムービーに着目して－	筑波大学附属聴覚特別支援学校	○有友愛子

【7 月 10 日】第1会場（301B）

【午前 9：30～10：30】座長：川邊淳子

B1-1	小学校家庭科みそ汁の授業ではぐくむ資質・能力の分析 －OECD との共同による次世代対応型指導モデルの研究開発の一環として－	東京学芸大学教育学部 東京学芸大学教育学部	○大竹美登利 藤田智子
B1-2	オリジナル教科書ガイドづくりで深まる家庭科の学び －炊飯学習の再発見として－	お茶の水女子大学附属小学校 横浜国立大学教育人間科学部	○岡部雅子 堀内かおる
B1-3	中学校の調理実習における科学的リテラシーに関する学び	富士市立岩松中学校 埼玉大学教育学部	○望月朋子 河村美穂

【午前 10：30～11：50】座長：佐藤園

B1-4	中学校家庭科における「災害食」を題材とした課題解決的な学習の 開発と実践	兵庫教育大学大学院学校教育研究科（院生） 兵庫教育大学大学院学校教育研究科	○小林裕子 永田智子
B1-5	魚食文化伝承のための授業開発研究 －種子島の中学校家庭科におけるキビナゴ手開き実習の導入－	お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所 鹿児島大学教育学部	○福留奈美 黒光貴峰
B1-6	魚食文化の発展・創造に向けた家庭科の授業デザイン －富山県の高校生の実態調査から－	横浜国立大学大学院教育学研究科（院生） 横浜国立大学教育人間科学部	○中川寛大 堀内かおる
B1-7	「共生・人の多様性」理解につなげる授業実践 －教員養成系大学生と小学校教員との比較から－	千葉大学教育学部（非） 広島都市学園大学子ども教育学部 大阪成蹊短期大学 鹿児島大学教育学部 山形大学地域教育文化学部	○小谷教子 冨田道子 松岡依里子 齋藤美保子 石垣和恵

【7 月 10 日】第2会場（301A）

【午前 9：30～10：30】座長：榊原典子

B2-1	高等学校家庭科における住居領域の授業実践 －指導者の違いに着目して－	鳴門教育大学大学院学校教育研究科	○速水多佳子
B2-2	身近な物品を用いた光・音環境の授業実践	新潟大学人文社会・教育科学系	○飯野由香利
B2-3	住生活教材としての「住宅リフォームすごろく」の開発	慶應義塾大学文学部 東京ガス株式会社	○杉浦淳吉 三神彩子

【午前 10：30～11：50】座長：鈴木真由子

B2-4	男女必修家庭科 20 年間の高校生の意識・実態の推移 －ジェンダー観、生活主権者意識を中心に－	大阪体育大学 福井県立若狭高等学校 越前町立朝日小学校	○荒井紀子 春貴良幸 村田尚未
B2-5	家教連京都サークルと京都府立高等学校男女共修家庭科実践 －家教連京都サークルの活動について－	京都教育大学教育学部 京都教育大学教育学部(非) 京都教育大学教育学部(非)	井上えり子 ○唐津育子 田中任代
B2-6	大学生の家庭科の学習経験と学習レリバンス	東京学芸大学教育学部	○藤田智子
B2-7	ジェンダー平等と家庭科教育の課題 －ワーキングマザーの学生時代の調査から－	高知大学教育学部	○森田美佐

【7 月 10 日】第3会場（302B）

【午前 9：30～10：30】座長：勝田映子

B3-1	グローバル社会に着目した高等学校家庭科で育成したい資質・能力	大阪教育大学 大阪成蹊短期大学 川村学園女子大学（非） 日本女子大学(客員研究員) 帝京学園短期大学	○大本久美子 松岡依里子 齋藤美重子 望月一枝 川村めぐみ
B3-2	グローバル社会に対応した高等学校「家族」の授業デザインと資質・能力	川村学園女子大学(非) 日本女子大学（客） 帝京学園短期大学 大阪成蹊短期大学 大阪教育大学	○齋藤美重子 望月一枝 川村めぐみ 松岡依里子 大本久美子
B3-3	グローバル社会に対応した家庭科教師の専門性と方略	日本女子大学（客） 川村学園女子大学（非） 帝京学園短期大学 大阪成蹊短期大学 大阪教育大学	○望月一枝 齋藤美重子 川村めぐみ 松岡依里子 大本久美子

【午前 10：30～11：50】座長：小野寺泰子

B3-4	家庭科の授業実践と，現実の世界にいる生徒とのかかわり －クリティカル・リアリズムをてがかりにした家庭科の授業実践の分析－	鳴門教育大学大学院学校教育研究科（研究生）	○大西友恵
B3-5	ESD を視点とした教師の気づき －クリティカル・リアリズムをてがかりとした家庭科教育での展開－	愛媛大学教育学部	○竹下浩子
B3-6	コンピテンシーベースの高等学校家庭科カリキュラムの構想 －クリティカル・リアリズムをてがかりとした生活課題への接近－	広島大学大学院教育学研究科 広島県立沼南高等学校 広島県立教育センター	○鈴木明子 中岡和美 小桝由美
B3-7	米国「家政学」の4つのモデルからみたわが国の家政学と家庭科教育の紡ぎ方 －クリティカル・リアリズムをてがかりとした原論の検討－	福山市立大学	○正保正惠

【7 月 10 日】第4会場（302A）

【午前 9：30～10：30】座長：岡陽子

B4-1	高等学校家庭科の授業における生徒の発話を引き出すための教師の発話に関する研究	千葉県私立東葉高等学校	○若月温美
B4-2	家庭基礎におけるホームプロジェクトのパフォーマンス評価の検討	東京都立戸山高等学校	○荒井きよみ
B4-3	『鹿内瑞子旧蔵資料』からみたへき地教育と小学校家庭科 －「複式学級用小学校家庭科教科書」を資料として－	熊本大学教育学部	○八幡（谷口）彩子

【午前 10：30～11：50】座長：八幡（谷口）彩子

B4-4	小学校高学年から中学生期における自己肯定感獲得に果たす家庭科の働き	大阪青山大学	○古田豊子
B4-5	東京都立高等学校家庭科における班別学習（少人数編成授業）設置の経緯と実態調査	茨城大学教育学部 愛国学園短期大学 愛国学園短期大学 東京都立戸山高等学校 神奈川県立横須賀明光高等学校 茨城大学教育学部 千葉県立千葉女子高等学校 埼玉県立吉川美南高等学校（非）	○野中美津枝 亀井佑子 新山みつ枝 荒井きよみ 荒井智子 石島恵美子 真田知恵子 吉野淳子
B4-6	貧困と向き合う家庭科教育 －高校家庭科教員へのアンケート調査結果から－	九州女子大学家政学部 東京家政大学短期大学部 東京学芸大学教育学部 都立井草高校(非) 山梨大学大学院総合研究部 鹿児島大学教育学系家政専修 都立晴海総合高校(非)	○田中由美子 青木幸子 大竹美登利 長田光子 神山久美 齋藤美保子 坪内恭子
B4-7	高等学校家庭科における社会関係資本 －授業事例の類型化と考察－	横浜国立大学大学院教育学研究科（院生）	○遠藤大輝

【ポスター発表】
会場（3F:ホワイエ）
掲示期間は　7 月　9 日 9:30～7 月 10 日 15:20
プレゼンテーションは、奇数番号【7 月　9 日】12:30～13:00
偶数番号【7 月 10 日】12:30～13:00

P01	食糧生産地における食育の可能性	弘前大学教育学部	○小野恭子
P02	豆類を教材とした食教育プログラム －小学校低学年における生活科授業の提案－	北海道教育大学教育学部釧路校 北海道教育大学教育学部旭川校	○土岐圭佑 岡田みゆき
P03	児童の食生活実態と小学校家庭科における食生活学習の定着度	埼玉大学 埼玉大学	○石川万記子 河村美穂
P04	ESD の視点を導入した小学校家庭科における食分野の授業の検討 －「ご飯とみそ汁」の題材に焦点を当てて－	北海道教育大学大学院教育学研究科（院生） 北海道教育大学旭川校	○中村美咲 川邊淳子
P05	子ども食堂での生活技能体験の可能性	園田学園女子大学人間健康学部	○林淑美
P06	イングランドにおける「レッスン・スタディ」の動向 －ロンドン市の教育委員会及び中等学校の食関連授業などの事例研究を基に－	女子栄養大学栄養学部 大阪体育大学教育学部 安田女子大学家政学部 愛国学園短期大学 麹町学園女子中・高等学校 福岡教育大学教育学部 大阪教育大学教育学部 名古屋文化短期大学	○井元りえ 荒井紀子 一色玲子 亀井佑子 神澤志乃 貴志倫子 鈴木真由子 羽根裕子
P07	食生活教育における中学生の変容と教育実習生の教師力との関わり	弘前大学教育学部 愛知教育大学教育学部 山梨大学大学院総合研究部教育学域	○日景弥生 青木香保里 志村結美
P08	小・中学校家庭科の調理実習における安全教育の実態	和歌山大学教育学部 広島大学大学院教育学研究科	○山本奈美 伊藤圭子
P09	みそ汁作りを中心とする幼小中交流活動を通しての幼児の意識	金沢大学 金沢大学 金沢大学	○滝口圭子 綿引伴子 尾島恭子

P10	食生活への知識を深める「文字かるた」の開発	福岡県立福岡高等学校 福岡県立門司大翔館高等学校	○林田秩子 筒井佐和子
P11	高校生の体格に関する意識と家庭科指導への援用 －BMIと体脂肪率との関係から－	高等工科学校 東京京学芸大学教育学部	○山崎真澄 池崎喜美恵
P12	女子学生の食育に関する意識調査	北海道教育大学教育学部札幌校	○根本亜矢子
P13	「教え方」を習得させる効果的な指導法の検討 －教職課程の調理実習における切り方実演演習の導入－	文化学園大学服装学部 お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所 東洋大学食環境科学部	○五十嵐清子 福留奈美 露久保美夏
P14	調理実習での問題解決的な取り組みが社会人基礎力育成に与える影響	就実短大	○畦五月
P15	小学校裁縫科における裁縫標本の意義 －「岩手県小学校連合女教員会」の裁縫科実践研究－	岩手大学　教育学部	○渡瀬典子
P16	ミシン縫いと手縫いの技能及び指導の自信を高める初等教員養成課程『初等家庭科教育法』の授業デザイン	兵庫教育大学大学院学校教育学研究科 兵庫県立西脇高等学校 兵庫県立有馬高等学校(非) 東京家政大学家政学部	○永田智子 藤原容子 山本亜美 潮田ひとみ
P17	小・中学校家庭科の被服実習における安全教育の実態	広島大学大学院教育学研究科 和歌山大学教育学部	○伊藤圭子 山本奈美
P18	ニュージーランドにおける衣生活教育	新潟大学	○杉村桃子
P19	防災意識を高める被服製作指導の試み －使い易さを考えた非常持ち出し袋の工夫－	信州大学学術研究院教育学系	○福田典子
P20	教員養成家庭科カリキュラムにおける「教科内容構成力」の育成 －岡山大学教育学部「中等家庭科内容論」「衣生活論」の実践と検討を通して－	岡山大学 岡山大学	○佐藤園 篠原陽子

P21	植物色素による布の染色と得られた染色布の性能 －大学の公開講座での実践報告－	弘前大学教育学部	○安川あけみ
P22	高校生における生活のリスク認知の特徴と要因 －東日本大震災の被災地調査の分析結果から－	東京家政大学	○青木幸子
P23	中学校における「家庭生活と消費」に関する授業実践 －考えてみよう！　”読み取り上手は買い物上手”－	藤女子大学大学院人間生活学研究科（院生） 藤女子大学大学院人間生活学研究科	○菱村佳子 飯村しのぶ
P24	特別支援学校高等部と連携した消費者教育の実践 －高校生におけるキャリア教育の視点から－	松山東雲短期大学生活科学科 鳴門教育大学大学院学校教育研究科	○皆川勝子 福井典代
P25	衣生活を通した消費者教育の授業づくり	宇都宮大学教育学部 宇都宮大学教育学部 栃木県立栃木商業高等学校 栃木県立宇都宮中央女子高等学校（非）	○赤塚朋子 佐々木和也 横山弘美 大原弘子
P26	環境問題への低関心層に対する省エネ教育の効果	東京家政大学 東京家政大学 東京家政大学 東京家政大（院）	○赤石記子 三神彩子 久松裕子 長尾慶子
P27	女子大学生の「食」に関する省エネ行動研究課題における分類と特徴	東京家政大学 東京家政大学 東京家政大学 東京家政大（院）	○久松裕子 三神彩子 赤石記子 長尾慶子
P28	省エネ行動変容促進のための新聞作成課題にみる分類と特徴	東京家政大学 東京家政大学 東京家政大学 東京家政大（院）	○三神彩子 赤石記子 久松裕子 長尾慶子
P29	食器洗浄に関する情報提供の教育効果	新渡戸文化短期大学 新渡戸文化短期大学 新渡戸文化短期大学 東京ガス株式会社	○荒木葉子 金木尚志 笹原麻希 三神彩子
P30	若年層の家事に関する質的研究 －家庭科男女必修世代のお手伝い経験と高校卒業後の家事－	國學院大學栃木短期大学人間教育学科	○岩﨑香織

P31	中・高家庭科教員免許取得を希望する男子学生の実態と意識	京都教育大学大学院 教育学研究科（院生）	○伊藤将太郎
P32	ノンフォーマル教育と家庭科教育との関連についての一考察	神戸松蔭女子学院大学 上越教育大学	○奥井一幾 得丸定子
P33	「他者とよい関係をつくる力」を評価するパフォーマンス課題の検討	福島大学人間発達文化学類	○角間陽子
P34	女子向き科目「家庭一般」の成立と展開 －学習指導要領のカリキュラム構造における「生活」の位置づけ－	東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科(院生) 埼玉大学教育学部	○瀬川朗 河村美穂

【シンポジウム】

7 月 9 日(土)14:20～16:45　2Fメインホール B

テーマ:家庭科が育てる市民性とは

趣旨

昨年、次期学習指導要領の骨格案が提示され、高等学校公民科に新しい科目「公共(仮称)」が設置されることになりました。この新科目には、家族や消費者教育などについても扱われるなど、家庭科や他教科等との連携が求められています。これを受けて、日本家庭科教育学会では 2015 年 11 月の例会において、「講演・指定討論会　教育改革と家庭科―いま家庭科教育に求められているものー」を開催しました。基調講演者の文部科学省初等中等教育局視学官、望月昌代先生からは、次期学習指導要領の方向性、小・中・高等学校を通じて育成すべき資質・能力の明確化、家庭科関連団体等との連携・協働の強化等についてご講演頂きました。また、指定討論者の宇都宮大学教授、赤塚朋子先生からは、基調講演者の講演内容を踏まえ、家庭科が育成すべき能力・資質や、教科の独自性や他教科等との連携をふまえつつ家庭科という教科そのもののあり方について考えが述べられました。

今回のシンポジウムでは公共とはどのような科目なのかという素朴な疑問を解決すると共に、家庭科との比較を通して改めて家庭科教育の意義や独自性について考え、更には他教科との連携についても考える場としたいと思います。

シンポジスト	池野　範男　氏	(広島大学)
	荒井　紀子　氏	(大阪体育大学)
	伊深　祥子　氏	(元・愛知教育大学)
コーディネーター	工藤　由貴子　氏	(横浜国立大学)

【ラウンドテーブル】

7 月 10 日（日）13：10～15：20
中会議室 301B(RT1), 301A(RT2), 302B(RT3)

テーマ：「市民性」を育てる家庭科実践とは

趣旨

2015 年 8 月に教育課程企画特別部会論点整理が報告されました。
報告には学習指導要領改訂の視点として、
（1）新しい時代に必要となる資質・能力の育成：「何ができるようになるか」
（2）育成すべき資質・能力を踏まえた教科・科目等の新設や目標・内容の見直し
：「何を学ぶか」
（3）アクティブ・ラーニングの視点からの不断の授業改善：「どのように学ぶか」
（4）育成すべき資質・能力を育む観点からの学習評価の充実
が示されています。

そこで、学習指導要領改訂について様々な情報が行き交う現在、“「市民性」を育てる家庭科実践とは”をテーマとして、話題提供者からの実践報告を皮切りに、上記の 4 視点について参加者の皆さんと一緒に考え、意見交換を行う実践交流の場を設けます。

RT1（会場：3 階中会議室 301B）
小・中学校における「市民性」を育てる授業とは
話題提供：鈴木　智子氏（小金井市立東小学校）
話題提供：小口　博子氏（茅野市立北部中学校）
司会進行：福田　典子氏（信州大学）

RT2：（会場：3 階中会議室 301A）
高等学校における「市民性」を育てる授業とは
話題提供：永井　敏美氏（富山県立砺波高等学校）
話題提供：荒井きよみ氏（東京都立戸山高等学校）
司会進行：荒井　紀子氏（大阪体育大学）

RT3：（会場：3 階中会議室 302B）
「市民性」を育てる家庭科アクティブ・ラーニングとは−教えて！西川純先生
話題提供：西川　純　氏（上越教育大学）
司会進行：吉澤　千夏氏（上越教育大学）
佐藤ゆかり氏（上越教育大学）

【懇親会のご案内】

日時：7 月 9 日（土） 17：30～19：30

会場：Befco(ベフコ)ばかうけ展望室
万代島ビル 31F（ホテル日航新潟のあるビル）
http://nikkoniigata.com/observatory/
住所：新潟県新潟市中央区万代島 5 番 1 号　電話：025－240-1888

会費：6,000 円

〈新潟の食〉
＋
〈360 度大パノラマと日本海随一（地上 125m）の高さからの眺望〉
＋
〈越後瞽女（ごぜ）唄*の演奏〉

食と風景と瞽女唄をお楽しみながら、会員相互の交流を
深めていただけたらと考えております。
みなさまのご参加をお待ちしております。
どうぞお誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願いいたします。

＊瞽女（ごぜ）さんが暮らしのために唄った唄、それが瞽女唄（ごぜうた）です。公的な福祉のない時代、目の見えない女性の生きる道は限られており、生きるために三味線をたずさえ村々を回っていた盲目の女性旅芸人の事で伝統が途絶えず引き継がれたのは越後だけでした。
（http://www.echigo-gozeuta.com/original.html より許可を得て引用）

【お知らせ】

●大会参加費　正会員　5,500 円（当日は 6,500 円）
学生会員　3,000 円（当日は 3,500 円）
非会員　6,500 円
学生非会員　3,500 円
非会員の 1 日参加費　3,000 円（要旨集別売り　1,000 円）

＊7 月 9 日（土）14：20～16：45「シンポジウム」並びに
7 月 10 日（日）13：10～15：20「ラウンドテーブル」のみの参加は無料
参加申込期間は、2016 年大会プログラム到着から 6 月 3 日（金）までです。

●弁当（1,000 円）を希望される方は、事前にお申込み下さい。昼食時間に受付でお渡しします。
館内での飲食は本学会大会で使用していない部屋及びそのホワイエを除き全館可能です。
館内及び近隣には飲食店が 10 店舗とコンビニエンスストアが1店舗あります。
食べ終わった弁当の容器は当日指示がある場所にお捨てください。

●保育室について
大会期間中、ご希望の方は保育室の利用が可能です。
開設時間は、7 月 9 日（土）8：30～17：00、10 日（日）8：30～15：50 です。
お預かりできるお子様の年齢は、基本的に 1 歳から小学校就学前までです。
利用料金は、1 時間当たり 800 円です。
別途一日当たり数十円の保険に加入していただきます。
ご希望の方は、6 月 3 日（金）までに、jahee2016@gmail.com 宛てにメールでお申し込みください。メールの件名欄を「保育室利用申込」とし、内容欄には以下の事項について記載してください。

（1）利用者（保護者）氏名・連絡先
（2）お子様の氏名、性別、年齢
（3）保育室利用予定日時
（4）おやつや粉ミルク、湯等の持ち込みの有無
（5）特別な配慮が必要な場合、その内容

メールでのお申し込みの確認がとれた場合には、3 日以内にメールでその旨返信いたします。もし、3 日以内に返信が無い場合には、もう一度メールを送りなおしてください。

●宿泊等について

お早めにスケジュールにあわせて，各々で確保していただきますようお願い致します。詳しくは，新潟コンベンション協会ホームページを参照してください。

（http：www.nvcb.or.jp/tomaru/index.html）

県外からの参加者人数によって、県・市コンベンション協会から補助がでますので、多くの方のご参加をお願いいたします。

【研究発表をされる方への連絡事項】

【口頭研究発表】

1．口頭研究発表のための資料は，パワーポイントおよび印刷物とします。

2．パワーポイントをご使用になられる方へ

①各発表会場に用意するパソコンソフトは， Windows 版 PowerPoint2013 です。

②ファイル名は次のようにして下さい。

半角文字で発表番号， 全角で発表者名の順（例：A1-1 佐藤）

③ファイルは，ウィルスチェックをすませた USB フラッシュメモリに保存してご持参いただき，以下のように，各自でパソコンにコピーしてください。

1 日目発表：7 月 9 日（土）：9：00～9：20（各会場にて）

2 日目発表：7 月 10 日（日）：9：00～9：20（各会場にて）

④パワーポイントの操作は発表者が行って下さい。

⑤パソコンにコピーしたファイルは，大会終了日に消去します。

3．配付資料は， 発表番号と氏名を明記し，必ず 100 部用意して，当日早めに各発表会場内の資料置き場にご提出ください。

4．パワーポイントを使用される場合でも，機器に不具合が生じた時のために，印刷物を 100 部ご用意ください。

5．口頭発表の時間は 15 分，質疑応答の時間は 5 分です。この時間には，資料配付等も含んでいます。発表時間が厳守されないとスケジュールが乱れますから， 是非ご協力をお願いいたします。

6．口頭発表開始 13 後に 1 鈴，15 分後に2鈴，20 分後に3鈴をもって終了の合図とします。

7．発表中止の場合は，できるだけ早めに，大会前の場合は学会事務局へ連絡ください。大会当日は，会場では電話受付できませんので，大会に参加する方に連絡をとるなどして，大会実行委員会事務局にお知らせいただけるようにお願いします。発表中止があった場合でも，その後の口頭発表時間の繰り上げはいたしません。

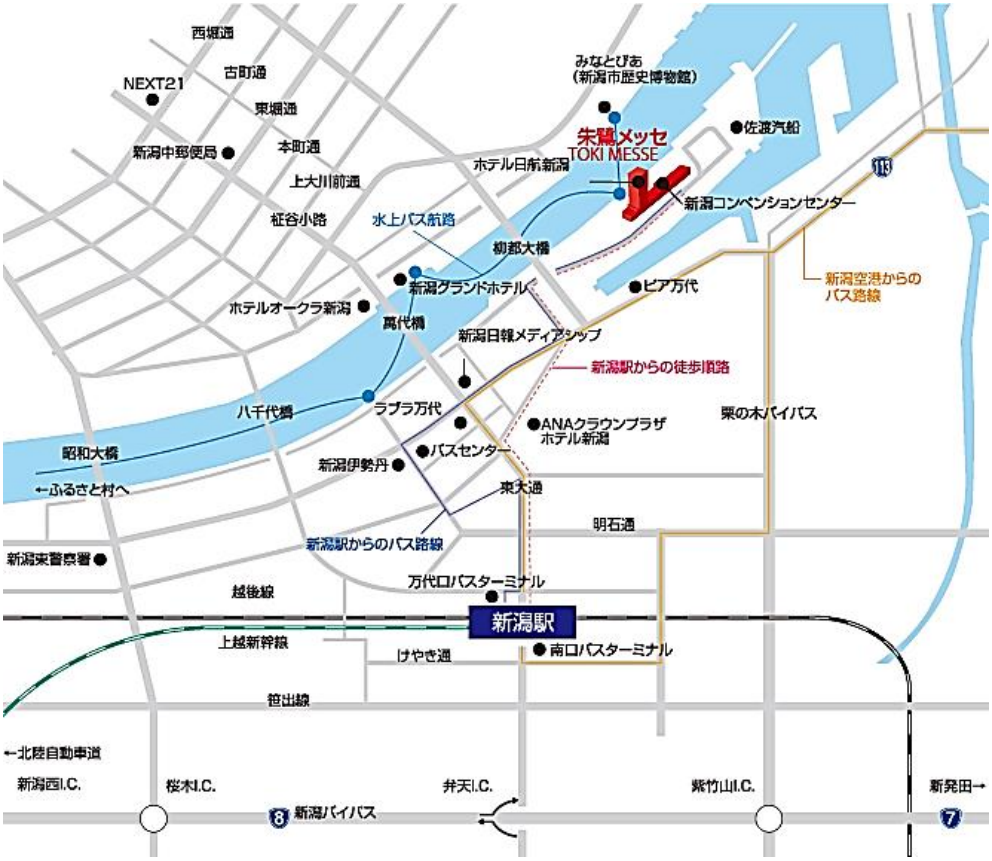
【ポスター研究発表】

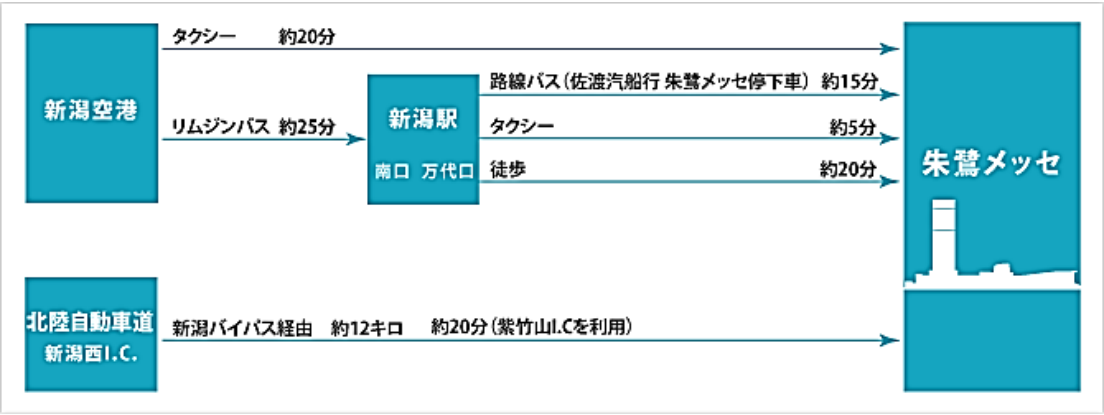
1. ポスターは，パネルボード縦 210cm、横 120cm 以内のサイズでご準備下さい。
2. 指定されたポスター発表番号場所に，発表番号・演題目・所属・氏名・説明文・図・表・写真など，自由にレイアウトしてください。
3. 発表者は、ポスタープレゼンテーション時間帯には、ポスター傍に待機してください。
   奇数番号プレゼンテーション：7 月　9 日(土)12：30～13：00
   偶数番号プレゼンテーション：7 月 10 日(日) 12：30～13：00
4. ポスターは，備え付けの画鋲で貼付してください。
5. ポスターの撤収は、
   7 月 10 日(日)15：20～15：50 までの間に各自で行ってください。
   所定の時間にポスターを撤去することができない発表者はご自身で大会に参加する方などに依頼し、ポスターを撤去するようにお願いいたします。
   撤去時間を過ぎましても残っているポスターにつきましては、事務局にて撤去し、処分いたしますので予めご了承ください。

【朱鷺メッセまでのアクセス】

（https://www.tokimesse.com/visitor/access/）

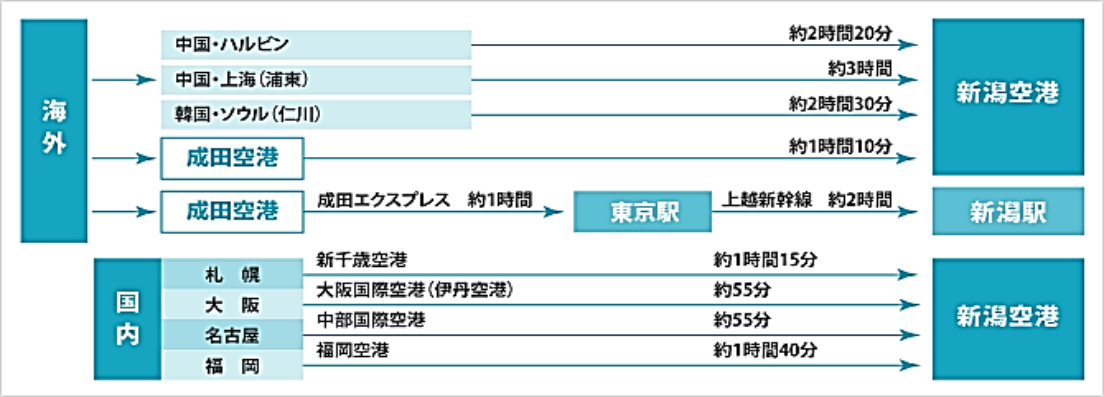
朱鷺メッセ　新潟コンベンションセンター
〒950-0078　新潟市中央区万代島６番１号　　TEL.025-246-8400　FAX.025-246-8411



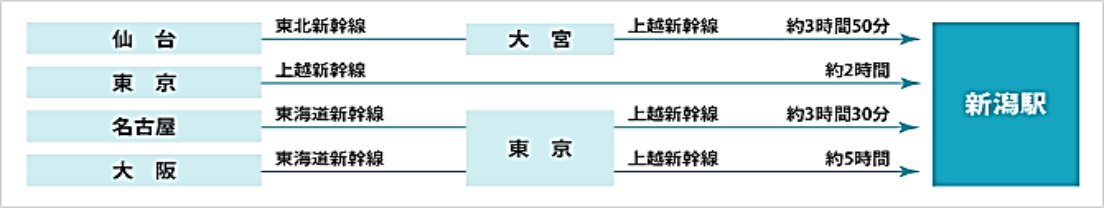


【アクセスルート】

飛行機をご利用の場合



鉄道をご利用の場合



お車をご利用の場合

＊駐車場について

お車にて参加の方は http://www.tokimesse.com/visitor/parking/をご確認ください。

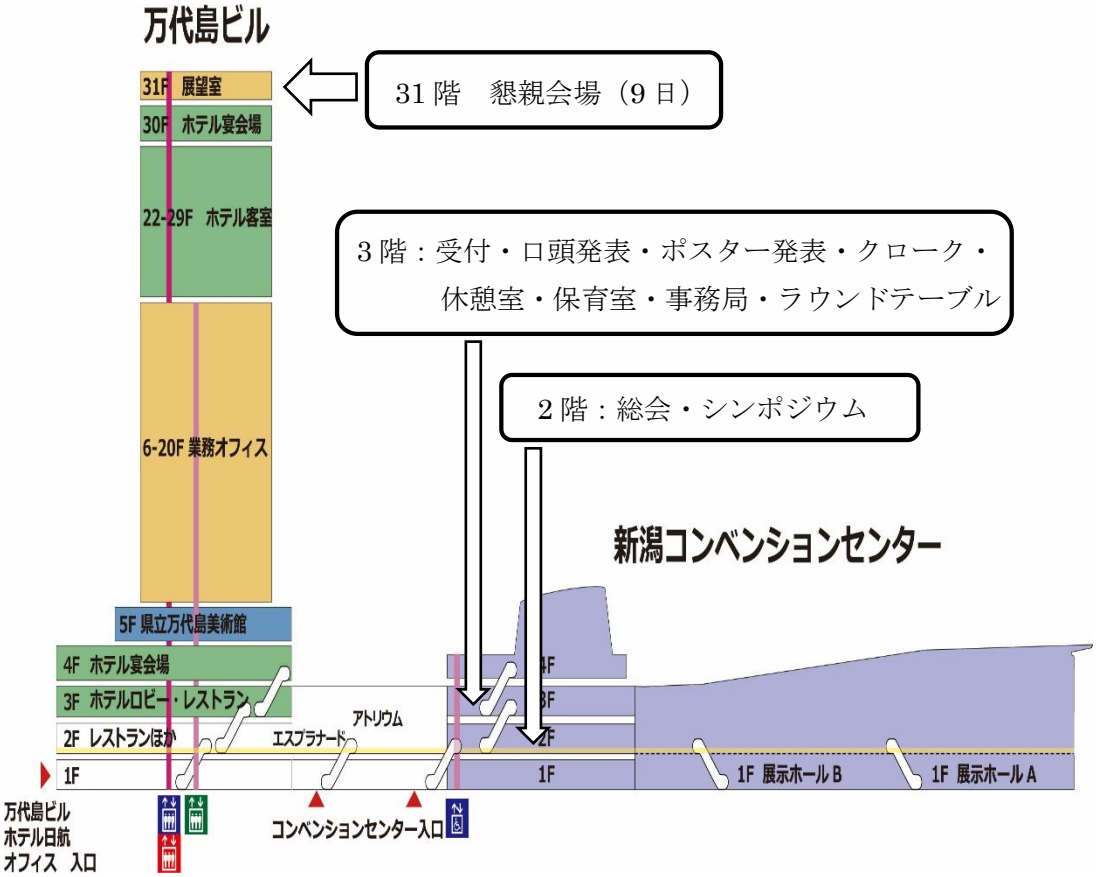
参考【万代島駐車場（A～E）駐車料金】（約 1500 台駐車可能）

入場から最初の 60 分無料、以後 30 分までごとに 100 円、1 日（入場から 24 時間）当たり最大 1,500 円

【営業時間】 24 時間

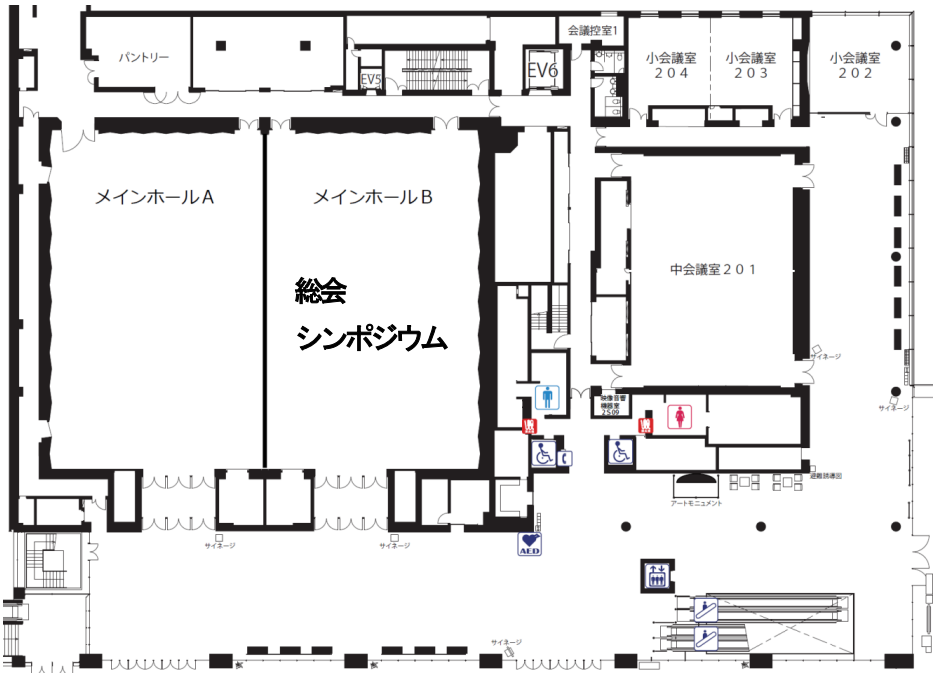
【朱鷺メッセ館内マップ】

（ホテル日航新潟があるビル）

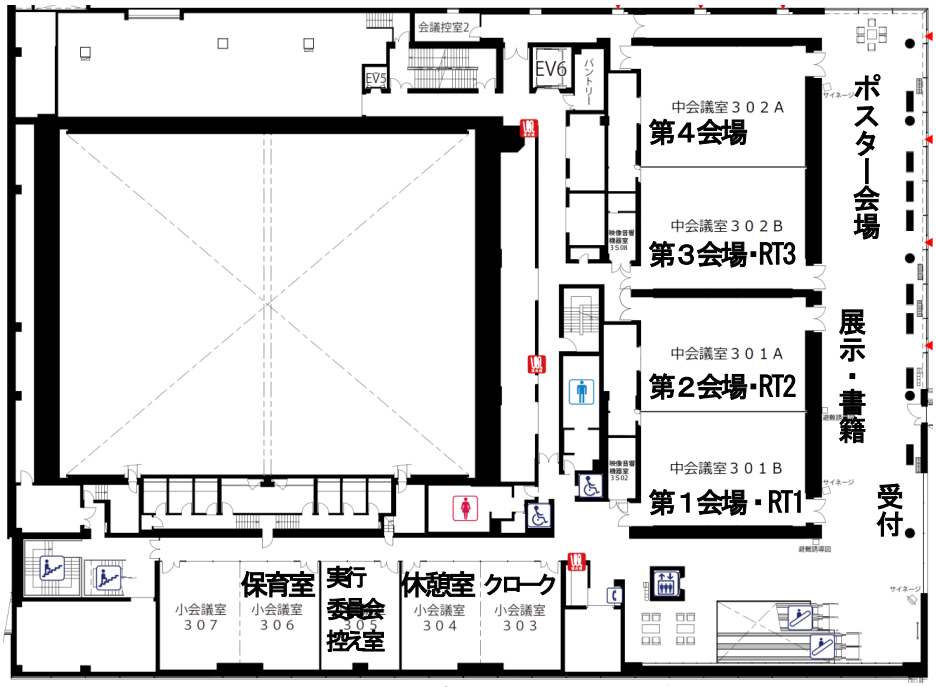


【会場配置図】

2 階



3 階



理事会・地区代表者会議（８日）